

公益財団法人 大倉和親記念財団

設 立 趣 意 書

科学技術の革新進歩は、今や一国の経済社会の発展と、国民生活の向上に不可欠の要素であり、現今の厳しい国際競争裏にあつて更にその意義を深くしております。

わが国が将来にわたつて国際社会におけるその地位を保ち更に高める為には、科学技術の振興を自らの手によって図ることこそ最も重要なことと確信するものがあります。

この観点に立つて、本財団法人は、出資者である大倉しげ氏の夫、故大倉和親氏が全生涯をわが国陶磁器工業の近代化に捧げられ、科学技術の振興につくされたその志を受け継いで、セラミックス及びこれに関連する分野における科学技術の振興を図り、もつて経済社会の発展と国民生活の向上に寄与することを趣旨とし、設立するものであります。

昭和45年3月設立